

板の形にしたねん土を変形させることから想ぞうを広げて、
空想の生き物をつくる。

ねん土の板から

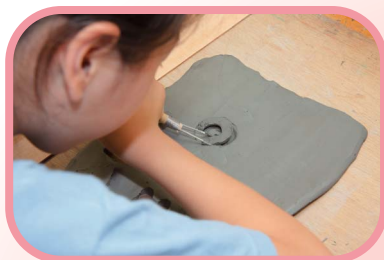
もようをつけたねん土の板を起こしたり曲げたりして
みましょう。どんな形が生まれますか。生まれた形から
想ぞうして、不思議な世界に住む、 不思議な生き物をつ
くりましょう。



ピアノ線で、形を
くりぬけるよ。



切れ目を入れてから、
めくり起こした。



かきべらで、形を
切り取ることも
できるよ。



ねん土の板を曲げたり
起こしたりして、
形を変えたよ。



ねん土べらでひっかいて、
もようをつけられるよ。



1枚のねん土の板。
ここから何を
つくろうかな。



型抜きをしてから、ねん土の
板を波のように曲げてみた。

8-1

おもな ようぐ



くふう

どの方向から見ると自分の
つくりたいものが見えてくる
かな。

ねん土の板からつくるときは、
土台を使って体にふくらみをもたせるつくり方があります。



ねん土の板に
もようをつけて。

すなをつめたポリぶくろや、
丸めた新聞紙などを土台にして、
ねん土の板をかぶせるよ。



板を起こしたり組み立てたりしたら、
いろいろな方向から見てみよう。



ねん土の板にもようをつけたり，形を変えたりしていくうちに，つくりたいものがうかんできた。

部品をつかってつけ足していたら，つくりたいもののイメージがもっとふくらんだよ。



全体の感じをたしかめながら，部分をつくらう。



■ [土ねん土／高さ 14cm]



■ [土ねん土／高さ 14cm]

9-1



■ [土ねん土／高さ 17cm]



■ [す焼き／高さ 9cm]

土台を使ってふくらみをもたせたから、中が空どうで、焼き物にしやすいよ。

☆ねん土の成形と焼成については、40,41ページも見てみよう。



■ [す焼き／高さ 14cm]

ふりかえり

起こしたねん土の形を生かして、不思議な生き物を表せたかな。